

1. 研究課題名：

総合的アプローチによる東南アジア地域での  
分散型生活排水処理システムの普及に関する研究



2. 研究代表者氏名及び所属：

蛭江 美孝（国立研究開発法人国立環境研究所  
資源循環・廃棄物研究センター）

3. 研究実施期間：平成 28～30 年度

4. 研究の趣旨・概要

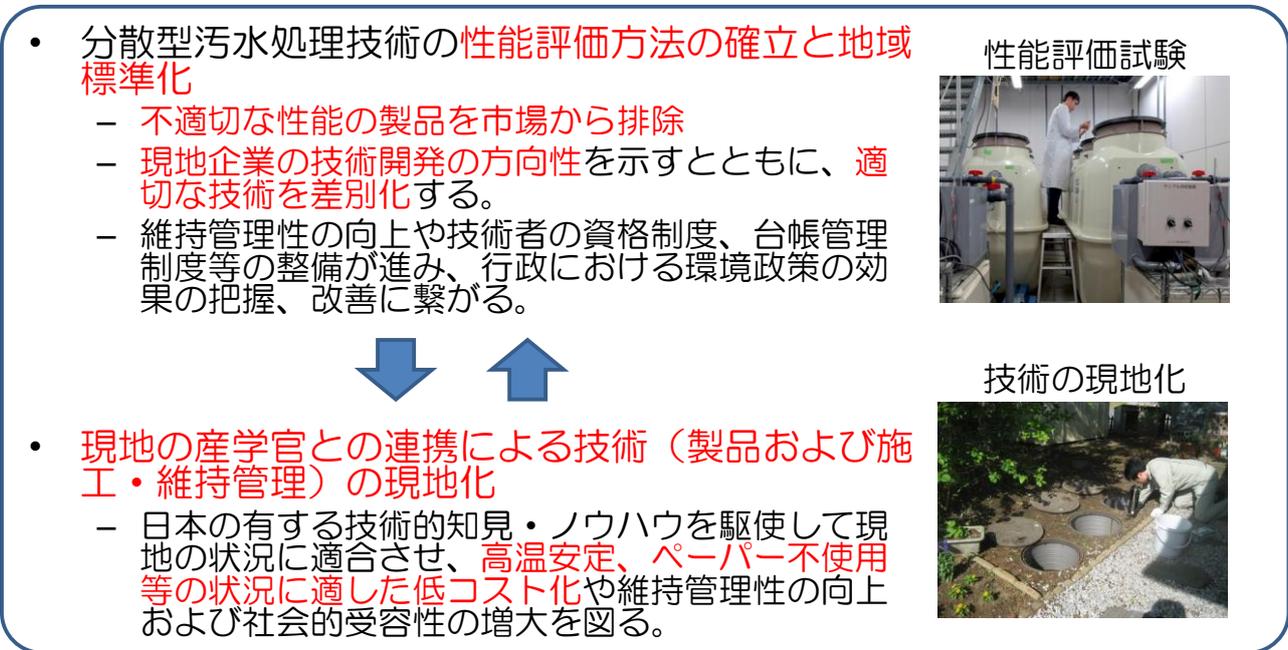
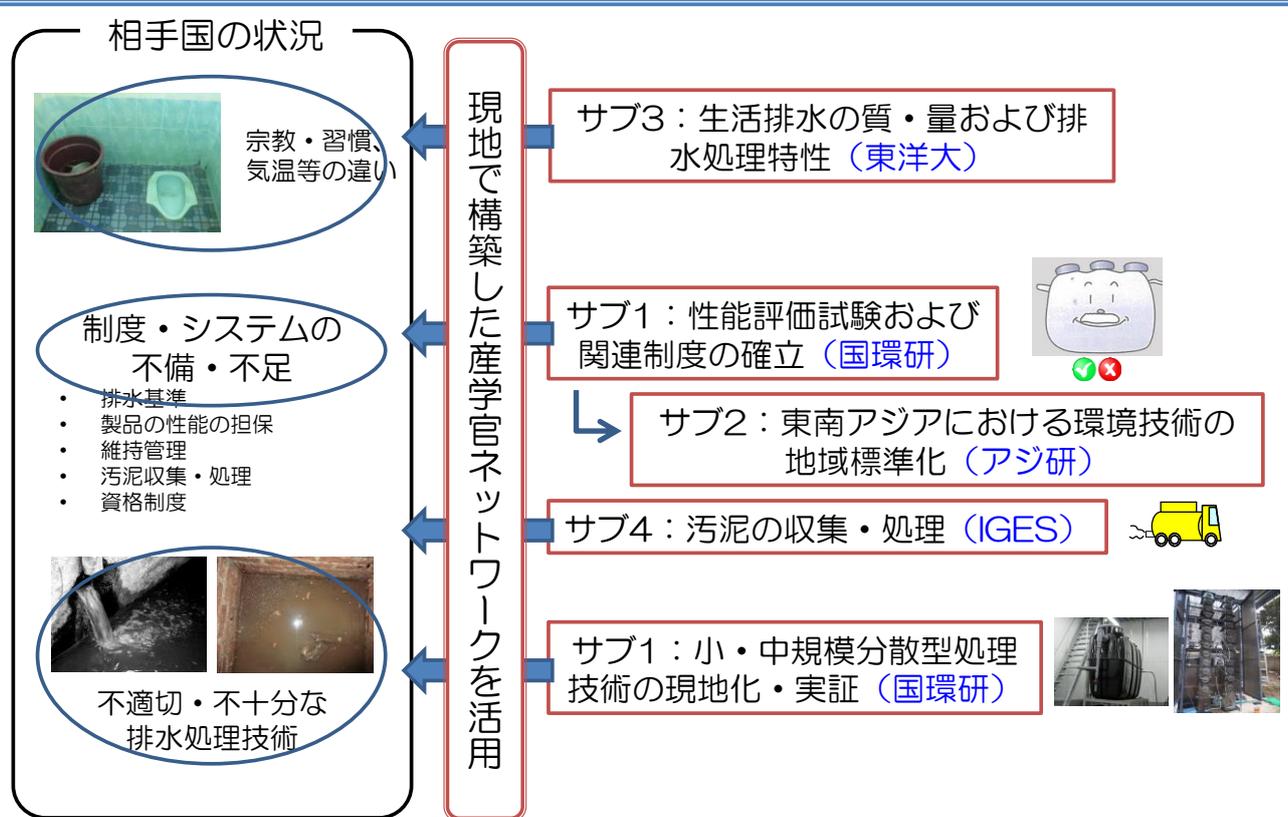
東南アジア地域においては生活排水対策として我が国の浄化槽システムが期待されているが、当該地域は熱帯気候で生活習慣も異なるため、ハード面での現地化が必要となる。また多くの場合、排水基準は定められているが、放流水質を担保する仕組みが欠落しているために粗悪で安価な製品を排除できない状況にある。本研究は、東南アジア地域における生活排水処理技術の性能評価試験方法を開発し、関連制度の確立と技術の現地化を連携して推進するものであり、これにより、適正な処理機能を有する製品の普及と当該地域における水環境負荷削減、さらには、地域標準化による市場の統合および技術開発促進への貢献が期待される。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 性能評価試験および関連制度の確立と小・中規模分散型処理技術の現地化・実証に関する研究  
(国立研究開発法人国立環境研究所)
- ② 東南アジアにおける環境技術の地域標準化に関する研究  
(独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所)
- ③ 地域の社会特性が生活排水の質・量および排水処理特性に及ぼす影響解析  
(東洋大学)
- ④ 汚泥の収集・処理システムの開発  
(公益財団法人地球環境戦略研究機関)

6. 研究のイメージ

制度の確立と技術の現地化を連携させた総合的アプローチ



インドネシアを中心に制度・技術を確立した上で、ASEANでの地域標準化に繋げる。

ASEAN全体で、コストのみならず品質面での製品競争を可能にする。